

WISENET

ネットワークカメラ ネットワーク設定ガイド

CE

目次

ネットワーク設定の確認	3	ネットワークタイプの選択
-------------	---	--------------

3

ネットワーク設定	11	IP設定用に使用されるPCでのネットワークの設定
	12	IP Installerの開始
	19	IP Installerの値の設定
	23	ポートフォワーディングの設定方法
	28	ログイン
	32	プログラムのインストールには、ネットワークカメラに接続した後でWebviewerを開始する必要があります。

11

設定画面	34	Web viewer-ネットワーク 設定
	43	Web viewer-パスワード 設定

34

ネットワーク設定の確認

次を確認してから、ネットワークを設定してください。

1. DDNSサーバーを使用するかどうかを確認します。
- 外部からのリモート監視にDDNSを使用するかどうか、またはローカルネットワーク内部のみでの監視にローカルネットワークの形でこのシステムを設定するかどうか確認します。
2. 静的IPまたは動的IPを使用するかどうかを確認します。
3. インストールする前に、ネットワークカメラの数と場所、および監視PCの場所を確認します。
4. IPルーター/ハブなど、ネットワークカメラに接続されるネットワークデバイスを確認します。
5. カメラの接続パスを確立するために必要な、ポートフォワーディング、ポートおよびプロトコルを確認します。

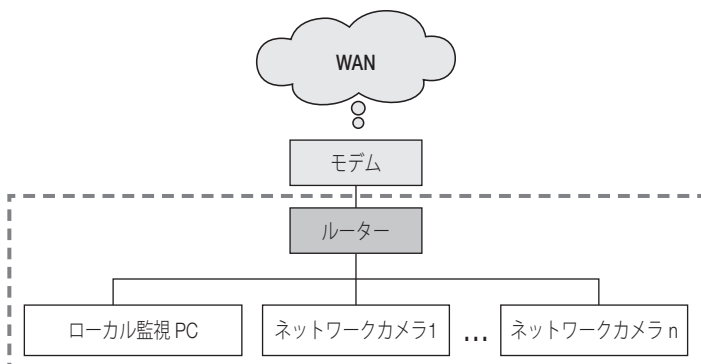
ネットワークタイプの選択

次の情報に基づいて設定するネットワークのタイプを選択します。

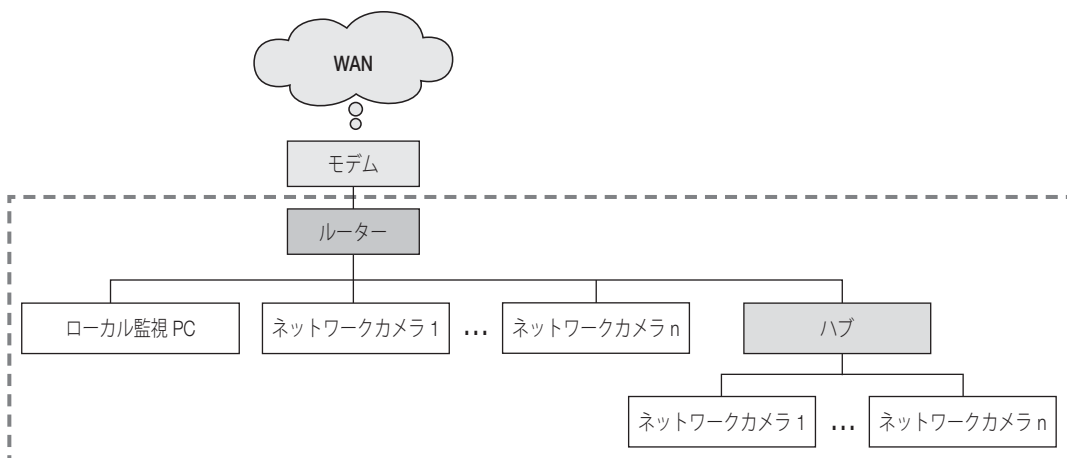
DDNSサーバーを使用しない場合:

下図のように、監視PCとネットワークカメラが同じルーターに接続されている場合、IP範囲は同じです。ローカル監視PCにIP Installerをインストールして、IP設定用にこのPCを使用します。

例1)

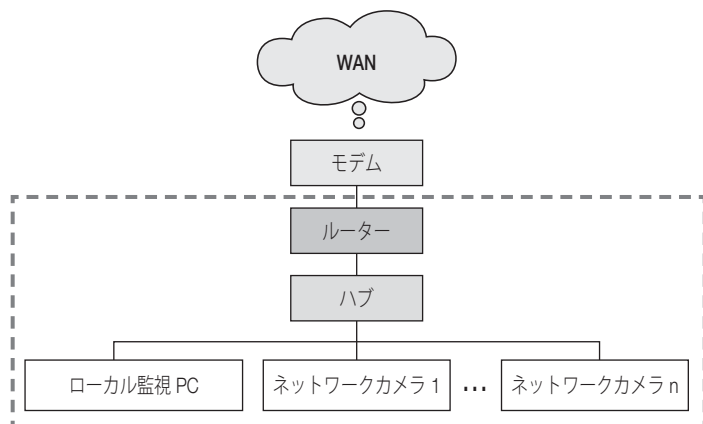


例2)

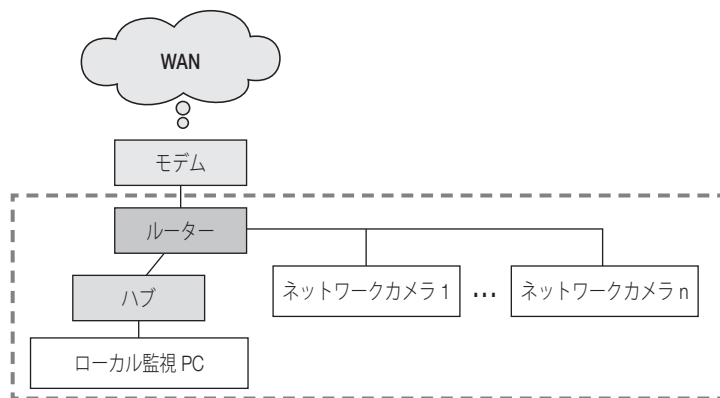


ネットワーク設定の確認

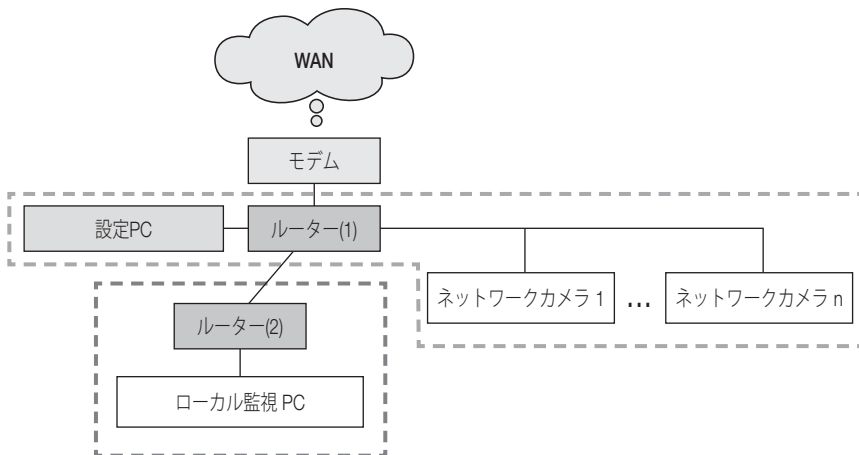
例3)



例4)



下図のように、監視PCとネットワークカメラが異なるルーターに接続されている場合、IP Installerがローカル監視PCにインストールされていても、ネットワークカメラは設定されません。
この場合、設定PCまたはノートブックをルーター (1) に接続して、ネットワークカメラを設定します。
例5)



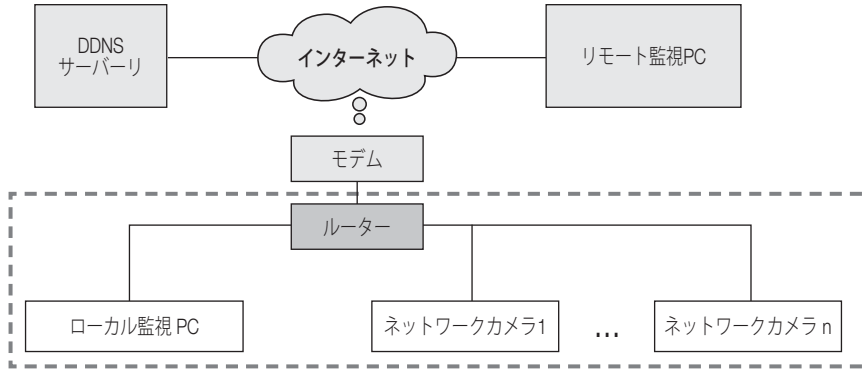
- 設定後、IP設定用のPCまたはラップトップを取り外します。

ネットワーク設定の確認

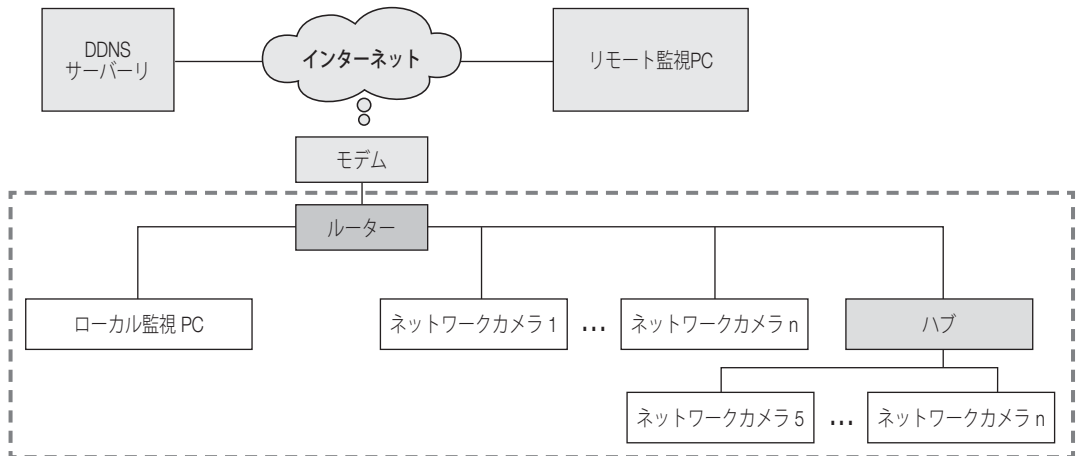
DDNSサーバーを使用する場合:

下図のように、監視PCとネットワークカメラが同じルーターに接続されている場合、IP範囲は同じです。IP InstallerをローカルPCにインストールして、IP設定用にこのPCを使用します。

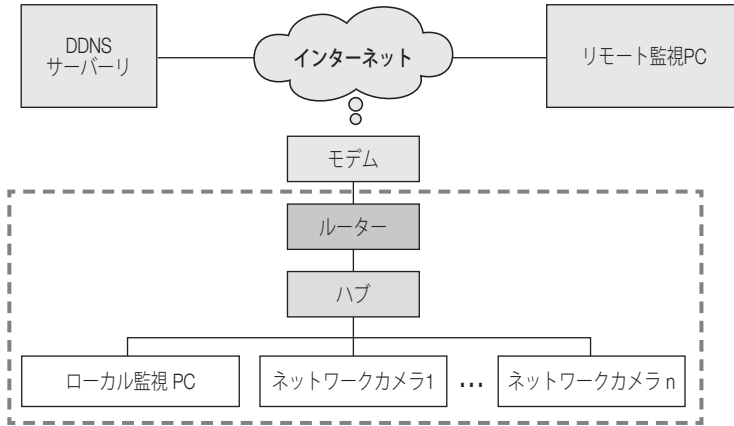
例1)



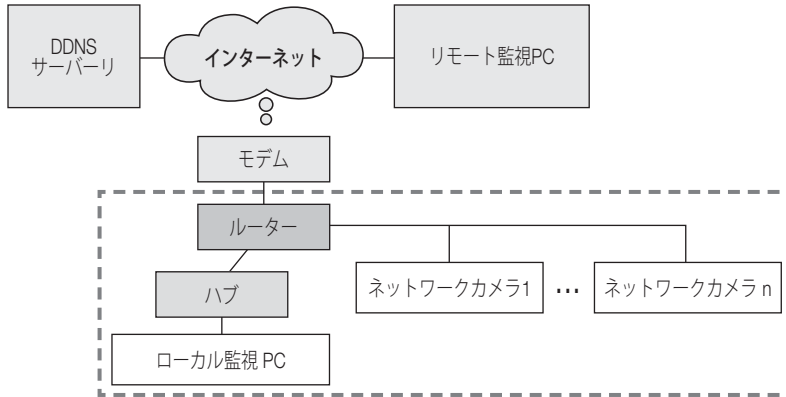
例2)



例3)



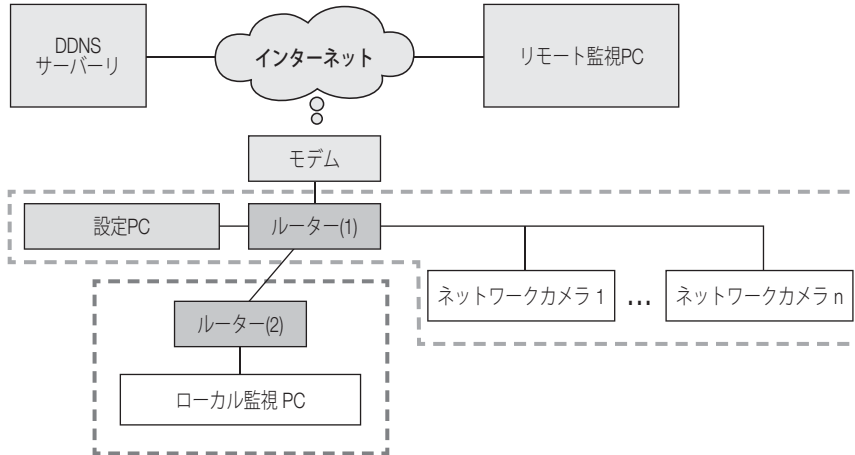
例4)



ネットワーク設定の確認

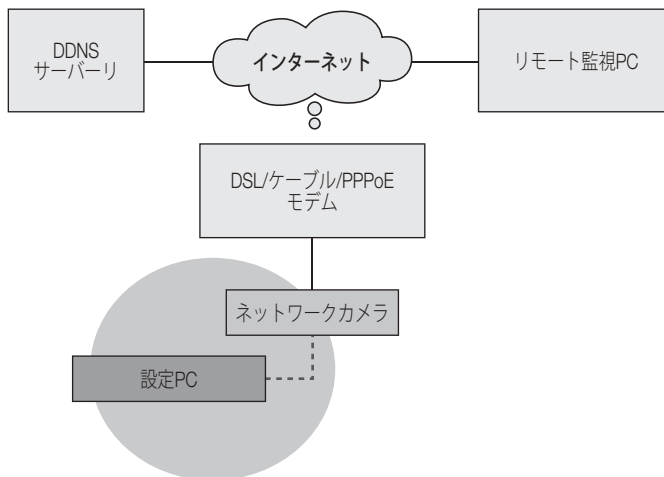
下図のように、監視PCとネットワークカメラが異なるルーターに接続されている場合、たとえIP Installerがローカル監視PCにインストールされていても、ネットワークカメラは設定できません。ルーター（1）に対するIP設定用の別のPCまたはラップトップに接続して、ネットワークカメラを設定します。

例5)



下図のように、監視PCとネットワークカメラがローカルネットワークに接続されずに、DSL/ケーブル/PPPoEモデムに直接接続されている場合は、別のPCまたはラップトップに接続して、このPCを使用してネットワークカメラIPを設定します。

例6)



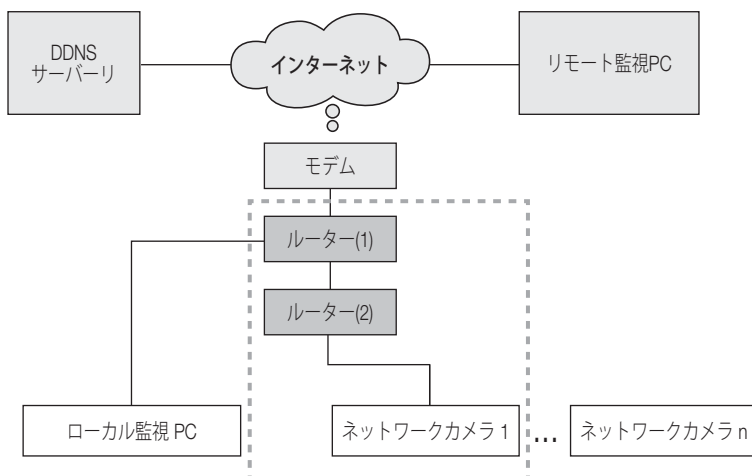
- 設定後、IP設定用のPCまたはラップトップを取り外します。

ネットワーク環境によってネットワークカメラのIP設定が難しい場合は、次に示す通常の方法で設定してください。

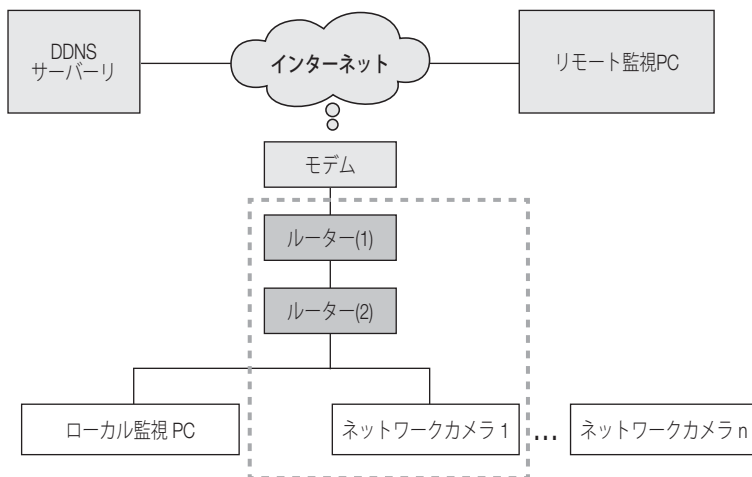
下図のように、2つ以上のルーターが上位レイヤーにある場合は、通常ネットワークカメラを設定できません。この環境では、ルーター（2）を通常のハブ装置に変換する必要があります（ルーター（1）とルーター（2）のIPアドレスが互いに衝突しないようにルーター設定メニューでDHCP機能をオフにし、ルーター（2）を通常のハブ装置として動作させます）。または、ルーター（1）と（2）の二重ポートフォワーディングにします。

- ❗ ■ ネットワークを変更および設定することは難しいため、該当サイトのネットワーク管理者に依頼して、ルーター（2）を通常のハブに置き換え、ネットワークカメラを接続することを推奨します。

例1)

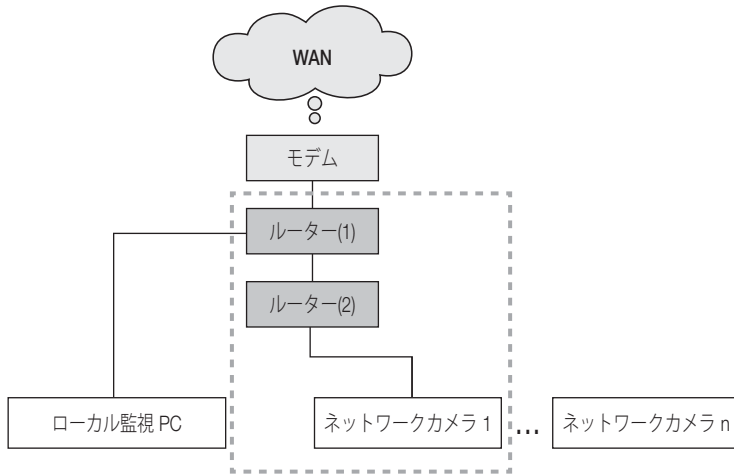


例2)

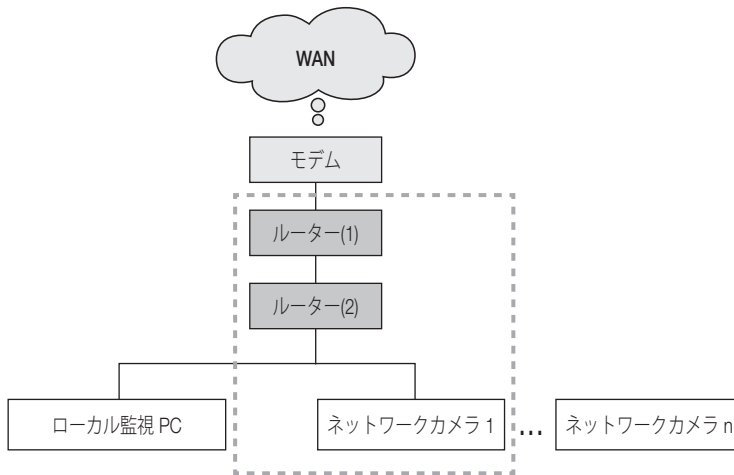


ネットワーク設定の確認

例3)



例4)

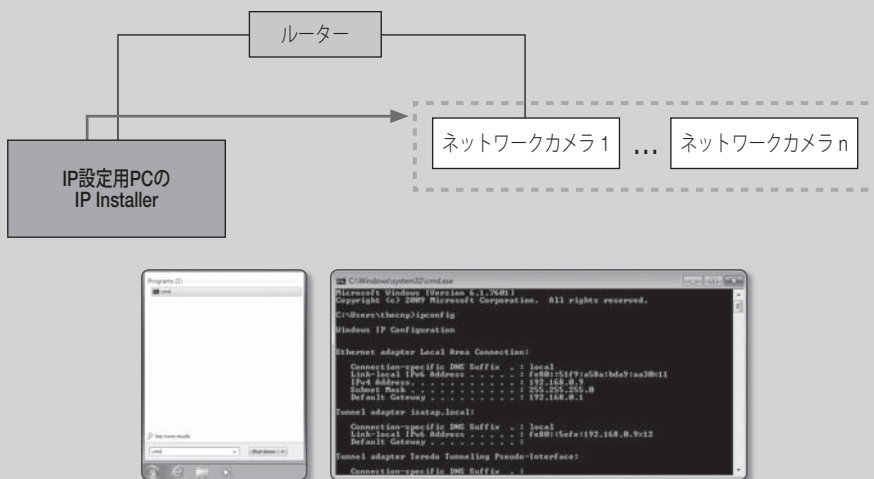


ネットワーク設定

ネットワークカメラに接続されたルーターのIP範囲を確認する方法は、次のとおりです。

1. Windows画面で、スタート→ファイル名を指定して実行をクリックして、"cmd"と入力します。
2. コマンドウィンドウに"ipconfig"と入力します。
ルーターに接続されたIP設定用のPCのIPについての情報が、表示されます。

- ☑ 同じゲートウェイおよびサブネットマスクが使用されている場合、IP範囲は同じです。ネットワークカメラが同じルーターに接続されているためです。

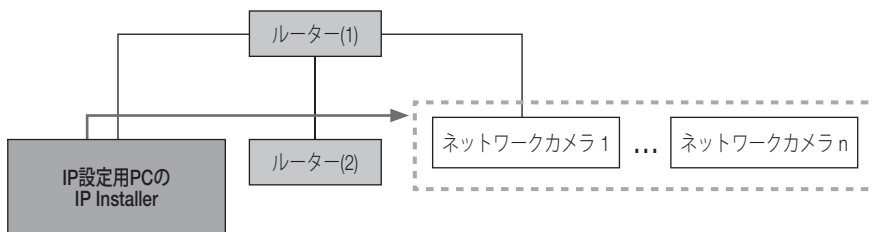


IP設定用に使用されるPCでのネットワークの設定

IP設定用にPCを接続

IP設定用のIP Installerプログラムを開始するには、ネットワークカメラと同じIP範囲となるように、このPCを同じルーターに接続します。

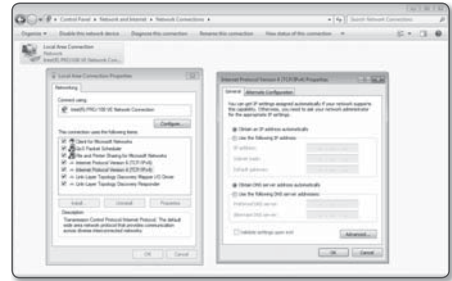
- ☑ 同じIP範囲にローカルPCがある場合、IP InstallerをローカルPCで開始してネットワークを設定します。同じIP範囲内にローカルPCがない場合は、別のPCを接続してIPを設定します。



ネットワーク設定

IP設定用に使用されるPCのネットワーク環境を設定する方法

1. ルーターに接続されたPCのネットワーク環境設定メニューを開きます。
2. パス: コントロールパネル → ネットワークと共有センター → アダプターの設定変更 → ローカル エリア接続 → プロパティ → インターネット プロトコルバージョン (TCP/IPv4) → プロパティ
3. "IPアドレスを自動的に取得する"および"DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する"を選択します。



- ✎ IP設定用に使用されるPCのIP範囲がネットワークカメラのIP範囲と異なる場合、たとえ[Search]をクリックしても、カメラは検出されません。

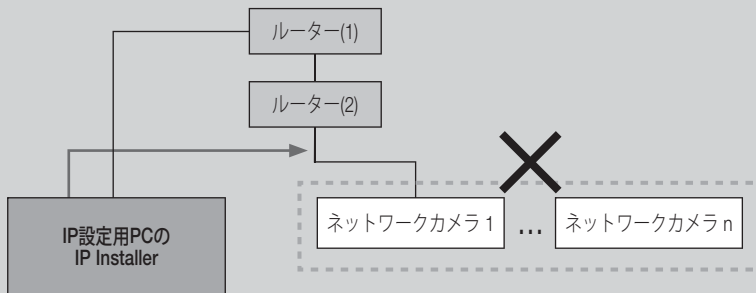
IP INSTALLERの開始

IP Installerとは？

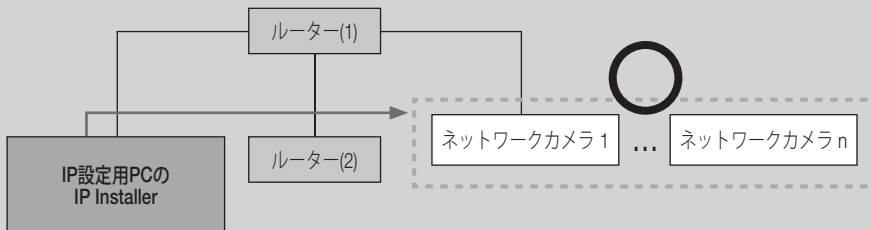
IP設定用のPCで開始したIP Installerは、ルーターのIP範囲内にあるネットワークデバイスから転送されたMACアドレス情報を受信し、ネットワークカメラを検出します。

IP設定用PC (IP Installerがインストールされている) とネットワークカメラが異なるルーターに接続されていて、IP範囲が異なる場合、IP Installerはネットワークカメラを検出できません。

例1) 次のネットワーク構造では、ネットワークカメラのMACアドレスは、外部のルーター (2) へは転送されず、ローカルPCのIP Installerでネットワークカメラは検出されません。



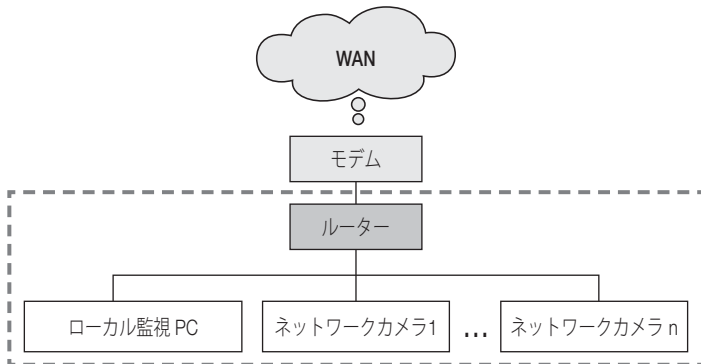
例2) IP InstallerがインストールされているIP設定用PCは、ネットワークカメラを検出するためには、ネットワークカメラに接続されたルーターと同じIP範囲にある必要があります。



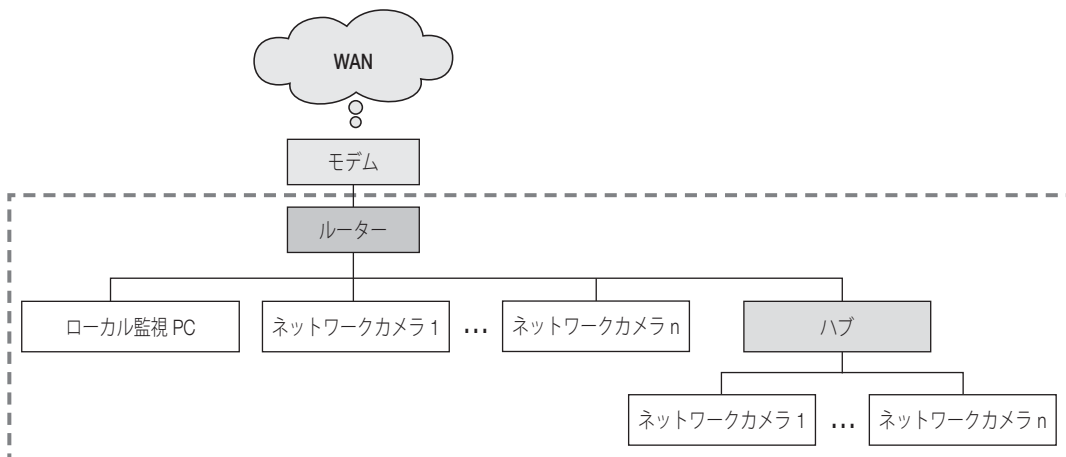
DDNSサーバーを使用しない場合:

次のケースでは、ローカル監視PCでIP Installerを開始します。

例1)

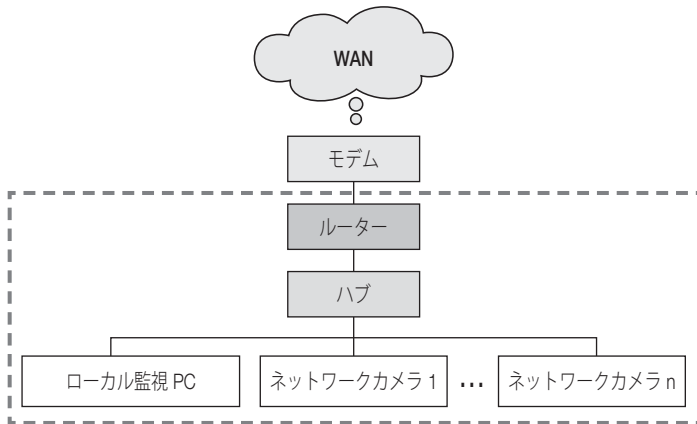


例2)

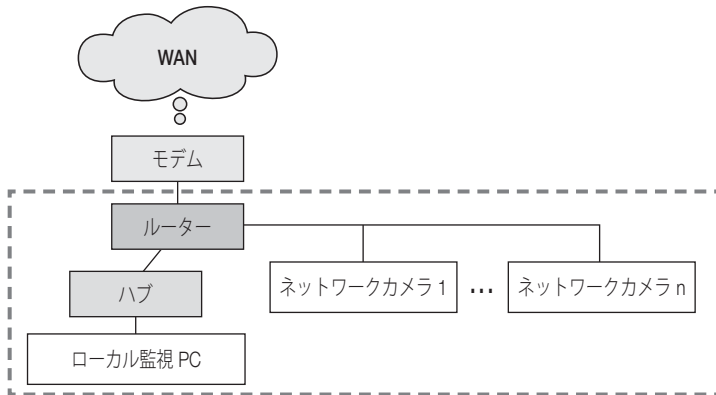


ネットワーク設定

例3)

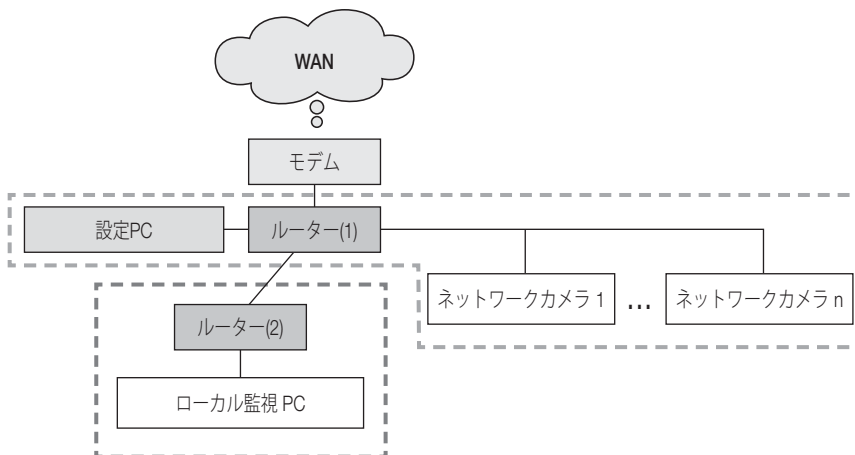


例4)



次のケースでは、ルーター (1) に別の設定用PCを接続して、IP Installerを開始します。

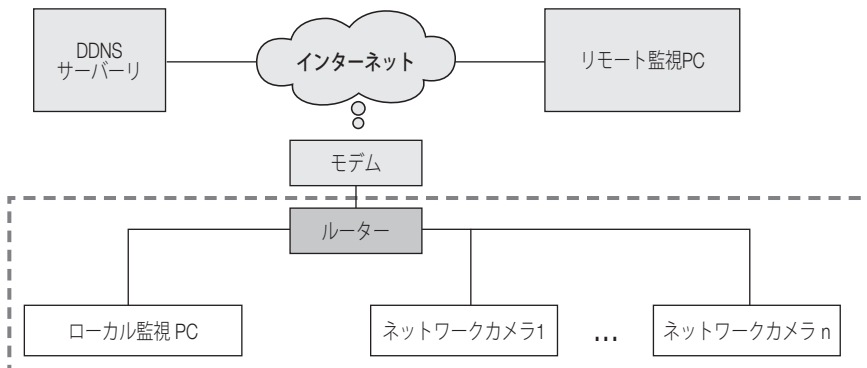
例5)



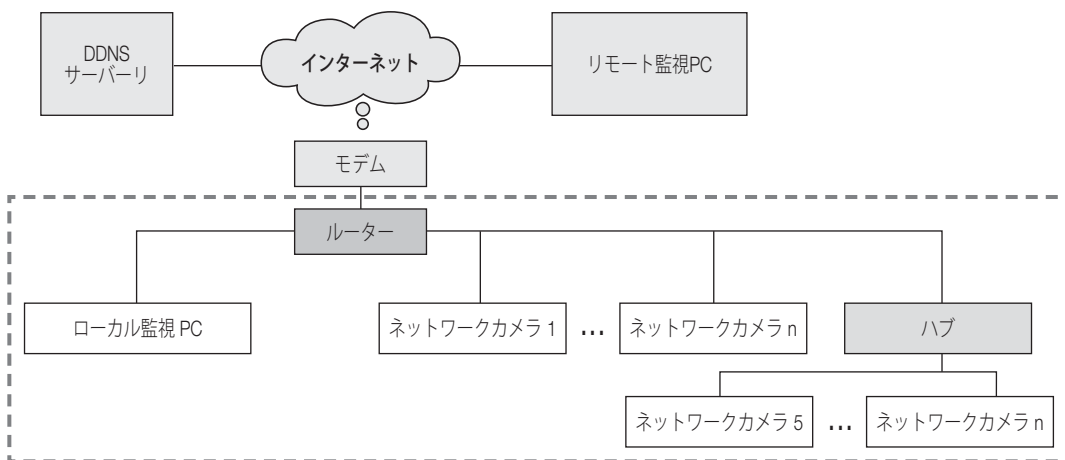
DDNSサーバーを使用する場合:

次のケースでは、ローカル監視PCでIP Installerを開始します。

例1)

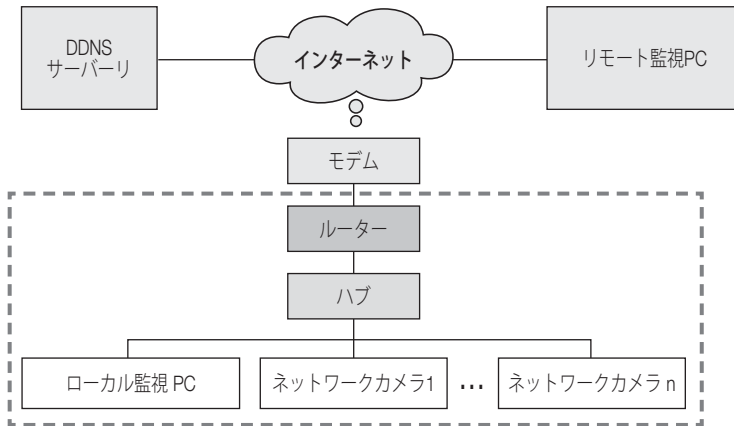


例2)

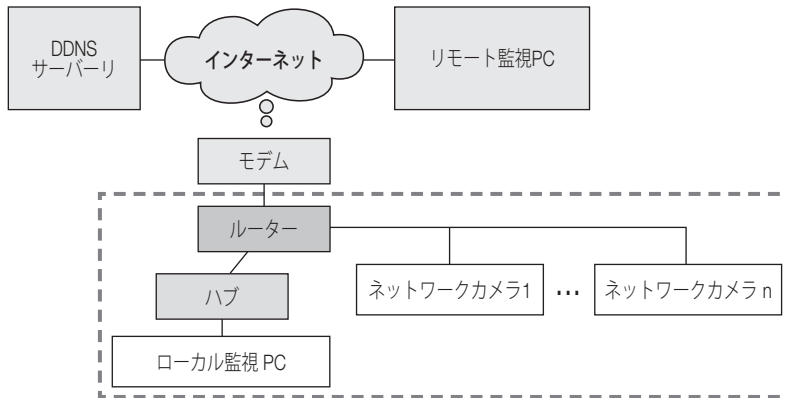


ネットワーク設定

例3)

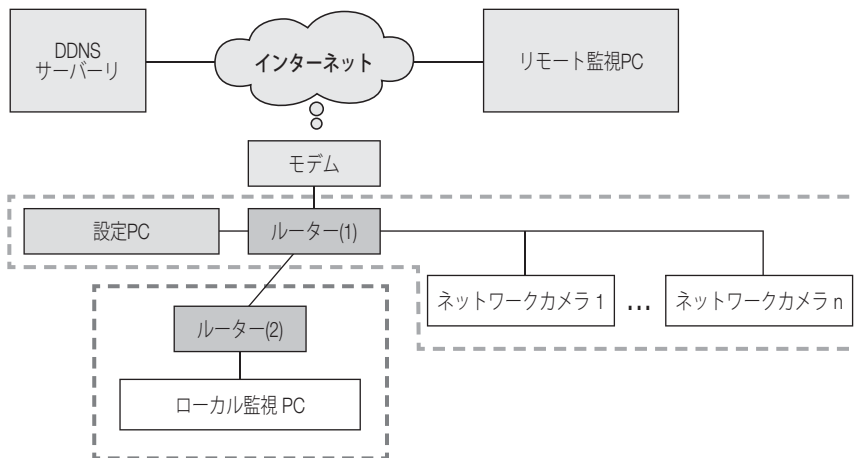


例4)



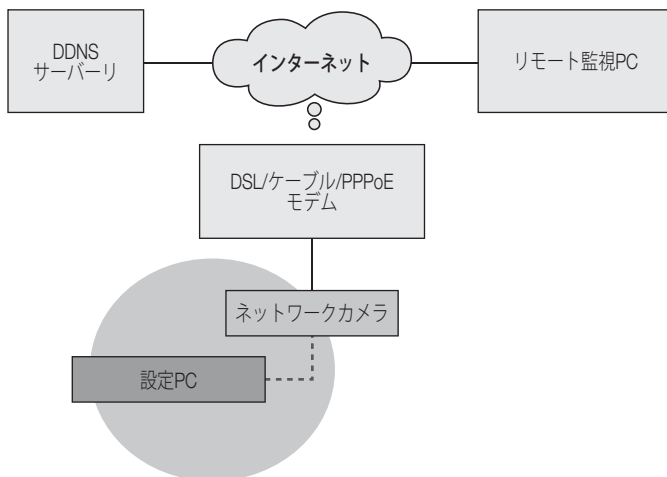
次のケースでは、ルーター（1）に別の設定用PCを接続して、IP Installerを開始します。

例5)



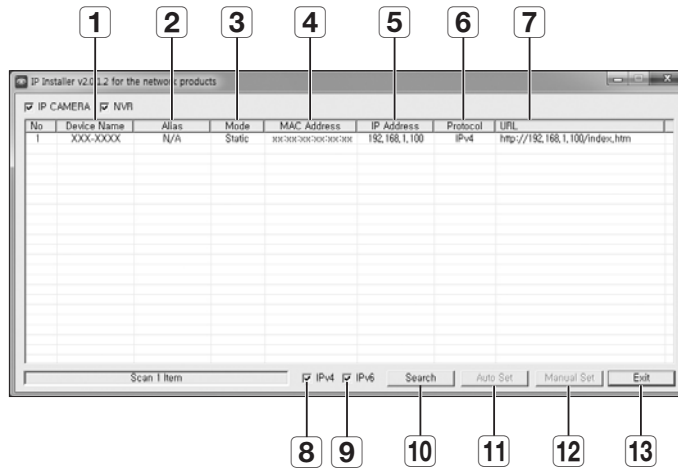
次のケースでは、設定PCを直接ネットワークカメラに接続し、IP Installerを開始します。

例6)



ネットワーク設定

IP Installerで使用されるボタン



項目	説明
1 Device Name	接続しているカメラのモデル名です。 列をクリックしてモデル名順にリストをソートします。 ただし、検索中にクリックすると検索は停止します。
2 Alias	この機能は現在導入されていません。
3 Mode	現在のネットワーク接続状態によって、<Static>、<Dynamic>もしくは<PPPoE>と表示します。
4 MAC(Ethernet) Address	接続されているカメラのイーサネットアドレスです。 列をクリックしてイーサネットのアドレス順にリストをソートします。 ただし、検索中にクリックすると検索は停止します。
5 IP Address	IPアドレスです。 列をクリックしてIPアドレス順にリストをソートします。 ただし、検索中にクリックすると検索は停止します。
6 Protocol	カメラのネットワーク設定です。 工場初期値は"IPV4"です。 IPv6設定のカメラは、"IPV6"と表示されます。
7 URL	外部のインターネットからのアクセスに使用するDDNS URLアドレス。 ただし、DDNS登録が失敗した場合、このアドレスはカメラの<IP Address>に置き換わります。
8 IPv4	IPv4設定のカメラをスキャンします。
9 IPv6	IPv6設定のカメラをスキャンします。 IPv6対応の環境でのみ有効化されます。
10 Search	ネットワークに接続されているカメラをスキャンします。 ただし、IPv4、IPv6どちらも確認できない場合、このボタンはグレー表示されます。

項目	説明
11 Auto Set	IPインストーラによって自動的にネットワークが設定されます。
12 Manual Set	ネットワーク設定を手動で行う必要があります。
13 Exit	IP Installerプログラムを終了します。

IP INSTALLERの値の設定

静的IPを使用して設定する方法

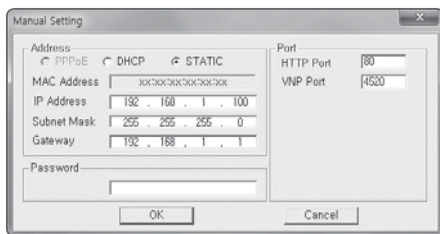
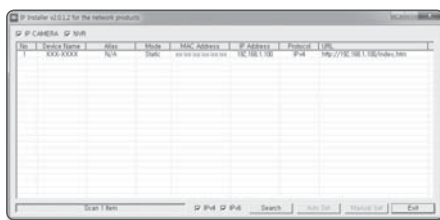
静的IPを使用した設定の通知

静的IPをネットワークカメラに割り当てる場合: 割り当てられた静的IPの範囲が、ネットワークデバイス (IPアドレスが割り当てられるPCおよびプリンタなど) のIP範囲に近い場合、ルーターのオン/オフやリセットの後、IP割当てエラーまたは他のネットワークデバイスとのIP衝突が発生する可能性があります。このため、通常他のネットワークデバイスで使用されないIPアドレスを割り当てることをお勧めします。

例) プリンタやPCなどのネットワークデバイスは、ルーターで192.168.1.1から192.168.1.10を使用します。
ネットワークカメラは192.168.1.101から192.168.1.200を使用します。

[Manual Set]を使用して手動でIPを設定する方法:

1. IP設定用PCでIP Installerを開始します。
2. [Search]ボタンをクリックします。同じルーターにあるIPアドレスを使用するネットワークデバイスのリストが表示されます。
3. MACアドレス情報を確認して、設定するデバイスを選択します。
4. [Manual Set]ボタンをクリックします。アドレスとポートを設定するウィンドウがポップアップします。
5. ネットワーク管理者によって割り当てられたIP範囲情報、または割り当てるIP範囲情報 (IP Address、Subnet Mask、Gateway、HTTP Port、VNP Port) を入力します。
6. カメラにアクセスするためのパスワード認証番号を入力し、[OK]ボタンをクリックします。これで設定が完了しました。

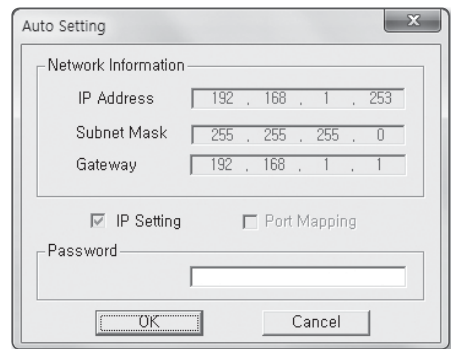
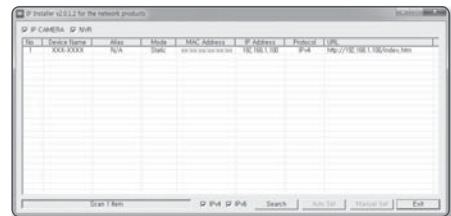


ネットワーク設定

- カメラにアクセスするためのパスワードは、"admin"ログインパスワードと同じです。デフォルト値は"4321"です。
- IPインストーラーでは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、HTTPポート、VNPポート、IP方式を設定するために、デフォルトパスワード、"4321"を御利用いただけます。ネットワークインターフェース変更後、セキュリティを向上させるため、ウェブビューアーにアクセスしてパスワードを変更してください。
- セキュリティ上の目的で、数字、アルファベット、大文字小文字および特殊文字を使用することをお勧めします。
- HTTPポートはWebブラウザを使用してカメラに接続するために使用されます。デフォルト値は"80"です。
- VNPポートはビデオ転送を制御します。デフォルト値は、"4520"です。

[Auto Set]を使用して自動でIPアドレスを設定する方法:

1. IP設定用PCでIP Installerを開始します。
2. [Search]ボタンをクリックします。同じルーターにあるIPアドレスを使用するネットワークデバイスのリストが表示されます。
3. MACアドレス情報を確認して、設定するデバイスを選択します。
4. [Auto Set]ボタンをクリックします。IP Address、Subnet Mask、およびGatewayが入力された[Auto Setting]ウィンドウがポップアップします。
5. カメラにアクセスするためのパスワード認証番号を入力し、[OK]ボタンをクリックします。これで設定が完了しました。



- カメラにアクセスするためのパスワードは、"admin"ログインパスワードと同じです。デフォルト値は"4321"です。
- IPインストーラーでは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、HTTPポート、VNPポート、IP方式を設定するために、デフォルトパスワード、"4321"を御利用いただけます。ネットワークインターフェース変更後、セキュリティを向上させるため、ウェブビューアーにアクセスしてパスワードを変更してください。
- セキュリティ上の目的で、数字、アルファベット、大文字小文字および特殊文字を使用することをお勧めします。
- VNPポートはビデオ転送を制御します。デフォルト値は、"4520"です。

インストーラ設定の通知

- 2つ以上のネットワークカメラがルーターに接続されている場合は、IPとポート関連パーツを個別に設定する必要があります。


カテゴリ		カメラ#1	カメラ#2
IP関連設定	IP Address	192.168.1.100	192.168.1.101
	Subnet Mask	255.255.255.0	255.255.255.0
	Gateway	192.168.1.1	192.168.1.1
ポート関連設定	HTTP Port	8080	8081
	VNP Port	4520	4521

- <HTTP Port>が80以外の値に設定されている場合、カメラにアクセスするには、インターネットブラウザのアドレスバーに<Port>番号を入力する必要があります。
例) http://IPアドレス: HTTPポート → http://192.168.1.100:8080)

動的IPを使用して設定する方法

動的IPを使用した設定の通知

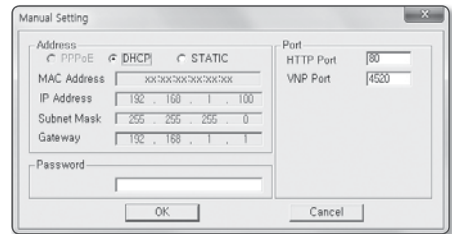
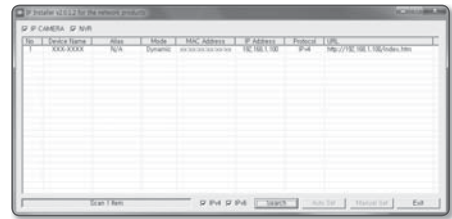
動的IPによって、IPアドレスのリソースを有効に使用することができます。これは、LAN環境においてDHCPサーバーを使用してIPアドレスを割り当てる際、ローカルネットワークのルーターのDHCPを使用してIPアドレスを割り当てる際、またはDHCPをサポートするモデムにネットワークカメラを接続する際に必要です。

-  ネットワークカメラが動的IPを使用するように設定されている場合、ローカルネットワーク環境またはリモートの場所にある監視PCプログラムによりネットワークカメラが検出されない可能性があります。これは、ルーター電源がリセットされたとき、または障害から回復したときに、IPおよびポートが変更される可能性があるためです。
このような問題を解決するために、より上位のルーターレイヤーにポートフォワーディングを設定することをお勧めします。
ポートフォワーディングの設定方法の詳細は、「[ポートフォワーディングの設定方法](#)」を参照してください。(23ページ)

ネットワーク設定

動的IPアドレスの確認および設定方法

1. IP設定用PCでIP Installerを開始します。
2. [Search]ボタンをクリックします。
同じルーターにあるIPルーターのDHCPによって割り当てられたIPアドレスを持つネットワークデバイスのリストが表示されます。
3. MACアドレス情報を確認して、設定するデバイスを選択します。
4. [Manual Set]ボタンをクリックします。生成されたウィンドウでDHCPから割り当てられたIPを確認できます。
5. [OK]ボタンをクリックします。これで設定が完了しました。



- カメラにアクセスするためのパスワードは、"admin"ログインパスワードと同じです。
デフォルト値は"4321"です。
- IPインストーラーでは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、HTTPポート、VNPポート、IP方式を設定するために、デフォルトパスワード、"4321"を御利用いただけます。ネットワークインターフェース変更後、セキュリティを向上させるため、ウェブビューアーにアクセスしてパスワードを変更してください。
- セキュリティ上の目的で、数字、アルファベット、大文字小文字および特殊文字を使用することをお勧めします。
- HTTPポートはWebブラウザを使用してカメラに接続するために使用されます。
デフォルト値は"80"です。
- VNPポートはビデオ転送を制御します。
デフォルト値は、"4520"です。

ポートフォワーディングの設定方法

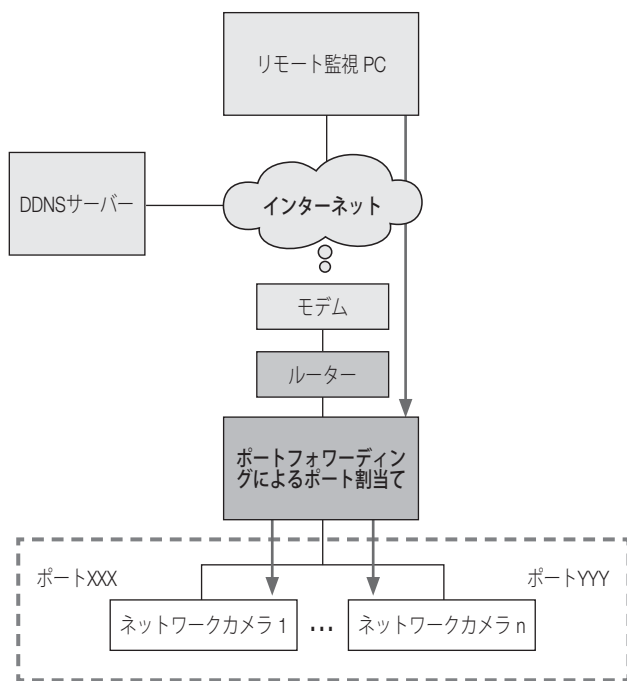
ポートフォワーディングとは

ルーターのDHCP設定によって動的IPを使用する場合、監視PCプログラムが特定のネットワークカメラに接続すると、ポートフォワーディング機能によりルーターがカメラ静的IPと特定のネットワークカメラ用のカメラを割り当てることができるようになります。

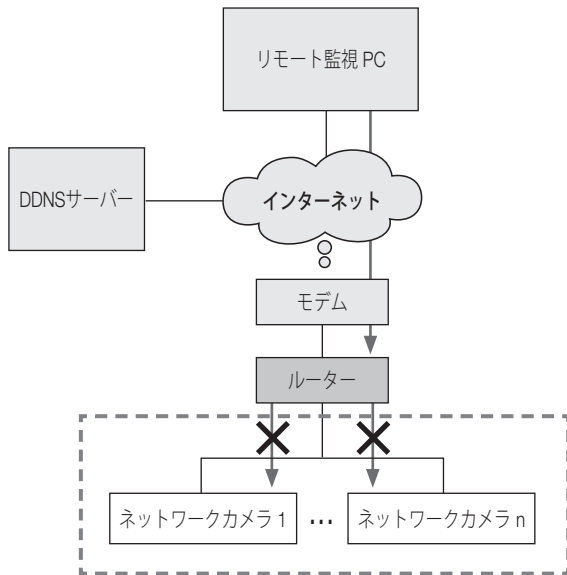
さらに、ルーター電源がリセットされたとき、または障害から回復したときに、そのIPおよびポートが変更されると、監視PCプログラムはネットワークカメラを見つけることができなくなります。



- 監視PCプログラムがDDNSサーバーを使用する内部ネットワークカメラに接続すると、ポートフォワーディングが設定されます。ネットワークカメラのIPおよびポートがポートフォワーディングによって設定されない場合、接続は確立されません。

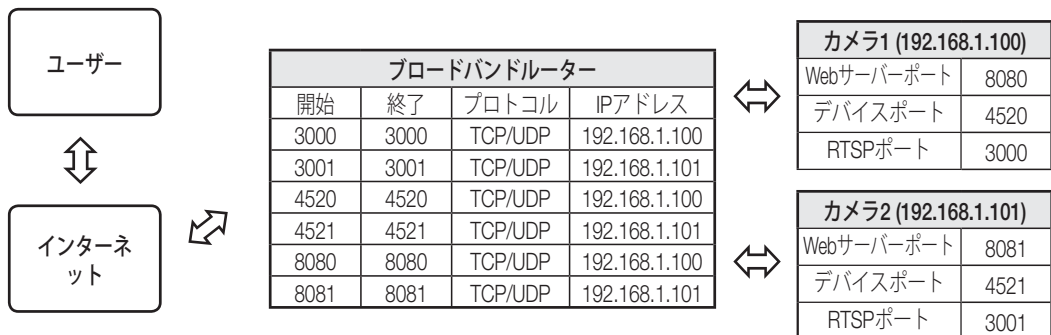


ネットワーク設定



複数のネットワークカメラに関するポートフォワード範囲設定

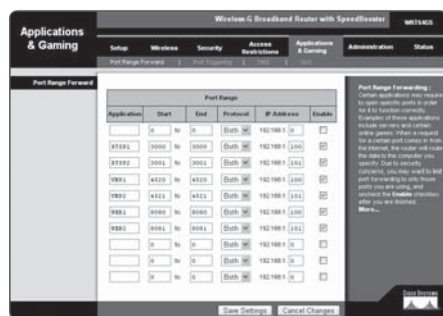
- ブロードバンドルーターデバイスの設定Webページで、ポートフォワーディングのルールを設定することができます。
- ユーザーは、カメラ設定画面を使って各ポートを変更できます。



- ルーター設定メニューでポートフォワーディングを手動で設定します。
 ルーターがUPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能をサポートしている場合、ポートフォワーディングを追加ルーターの設定なしで行うことができます。
 ネットワークカメラを接続した後、<Samsung DDNS>の<クイック接続>を"Setup → Network → DDNS"メニューにある<On>にセットします。

CISCOルーターの設定方法


1. ブロードバンドルーターの設定メニューから
 <Applications & Gaming> - <Port Range Forward>を選択します。
 サードパーティのブロードバンドルーター用にポートフォワードを設定するには、ブロードバンドルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
2. ブロードバンドルーターに接続されている各カメラ用の、<TCP>と<UDP Port>を選択します。
 ブロードバンドルーターの各ポート番号は、カメラのWeb Viewerメニューの<Setup> - <Basic> - <IP & ポート>で指定した番号と一致する必要があります。
3. 完了後、[Save Settings]をクリックします。
 設定が保存されます。



- 上記の説明の例はCISCOのブロードバンドルーターに基づいています。
- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。


ネットワーク設定

各ルーターメーカーの設定ページのアドレスおよび各ルーターへのログイン方法

 ■ 次の情報は、メーカーによって変更になる場合があります。

ルーターメーカー	IPアドレスの設定ページ	ID/パスワード
Samsung	http://192.168.123.254	admin/admin
Zio	http://192.168.10.1	
Wavecast	http://192.168.200.254 http://192.168.25.1	admin/admin
Linksys	http://192.168.1.1	admin/1234 blank/admin
Belkin	http://192.168.2.1	
Netgear	http://192.168.0.1	admin/password admin/1234
Netop	http://192.168.0.1	admin/admin
Neple	http://192.168.10.1	admin
Levelone	http://192.168.123.254	
NETWEEN	http://192.168.1.1	admin/admin
NEXT	http://192.168.100.1 http://192.168.0.1	
Imation	http://192.168.10.1	
ASUS	http://192.168.10.1	
SMC	http://192.168.2.1	smcadmin
iptime	http://192.168.0.1	
QookHub HomeHub	http://172.30.1.254 http://172.30.1.254:8899	ktuser/megaap kroot/nespot
LGU+ (モデル名NAPL、CAPL)	http://192.168.123.254	admin
MyLGtv	http://192.168.219.1	user/power admin/power
Sktelesys	http://192.168.15.1:62207	root/skb_ipdcp
SK broadband (DWW-2000N)	http://192.168.25.1	admin/admin
SKtv (MW-2010R)	http://192.168.20.1	admin/skbiptv root/1234またはadmin
Anygate	http://192.168.10.1	
Buffalo	http://192.168.11.1	root/blank
Unicorn	http://192.168.123.254	adminまたはadmin/admin
LG axler	http://192.168.10.1	
D-link	http://192.168.0.1	admin/blank

各ルーターメーカーのポートフォワーディングメニューの入力方法

 ■ 次の情報は、メーカーによって変更になる場合があります。

ルーターメーカー	各メーカーの設定メニューの入力方法
Samsung	詳細設定 → フォワーディング → 仮想サーバー (ポートフォワーディング)
Zio	NAT → ポートフォワーディング
Wavecast	詳細設定 → ポートフォワーディング、ファイヤーウォール → ポートフォワーディング
Linksys	アプリケーションおよびゲーム → ポート範囲フォワード
Belkin	ファイヤーウォール → 仮想サーバー
Netgear	詳細設定 → ポートフォワーディング → カスタムサービスの追加
Netop	ファイヤーウォール設定 → 仮想サーバー設定
Neple	詳細機能設定 → 仮想サーバー
Levelone	フォワーディングルール → 仮想サーバー
NETWEEN	詳細設定 → NAT → ポートフォワーディング
NEXT	NAT → 仮想サーバー (ポートフォワーディング)
Imation	詳細機能設定 → 仮想サーバー
ASUS	NAT 設定 → 仮想サーバー
SMC	詳細設定 → NAT → 仮想サーバー設定
iptime	管理ツール → 詳細設定 → ポートフォワーディング設定
QookHub HomeHub	詳細設定 → トラフィック管理 → ポートフォワーディング設定
LGU+ (モデル名NAPL、CAPL)	詳細設定 → NAT 設定 → ポートフォワーディング
MyLGtv	ネットワーク設定 → NAT 設定 → 下部のポートフォワーディング
Sktelesys	ファイヤーウォール → ポリシー → ポートフォワーディング
SK broadband (DWW-2000N)	ファイヤーウォール → ポートフォワーディング
SKtv (MW-2010R)	NAT → ポートフォワーディング
Anygate	エキスパート設定 → トラフィック管理 → ポートフォワーディング
Buffalo	ゲームポート → ポートフォワーディング
Unicorn	仮想サーバー → ポートフォワーディング、ポートフォワーディング → 仮想サーバー
LG axler	詳細設定メニュー → ポートフォワーディング
D-link	詳細設定 → ポートフォワーディング (または仮想サーバー)

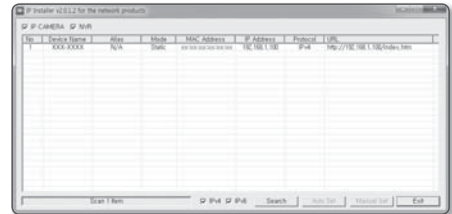
ネットワーク設定

ログイン

ネットワークカメラに接続してログインします。

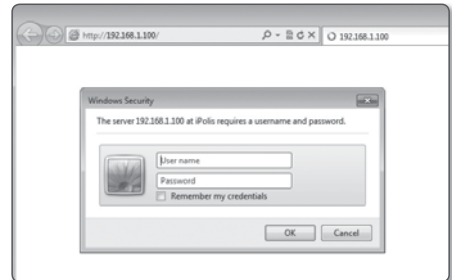
IP Installerによるカメラ接続（ログイン）

1. IP Installerを開始します。
2. [Search]ボタンをクリックして、接続されたカメラを見つけます。
3. 接続するネットワークカメラを選択してダブルクリックします。
インターネットブラウザが開始されます。
4. ログインウィンドウが表示されたら、<User name>および<Password>を入力し、ログインします。



インターネットブラウザによるカメラ接続（ログイン）

1. インターネットブラウザを開始します。
2. アドレスバーにネットワークカメラのIPアドレスを入力します。
例) IPアドレス (IPv4) : http://192.168.1.100
IPアドレス (IPv6) : [2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111]
3. HTTPポートが'80'ではない場合は、ネットワークカメラのIPアドレスとHTTPポート番号を入力します。
例) "http://192.168.1.100:8080"と入力します。
4. ログインウィンドウが表示されたら、<User name>および<Password>を入力し、ログインします。



DDNSサーバーの動作説明

1. メインDDNS関連情報

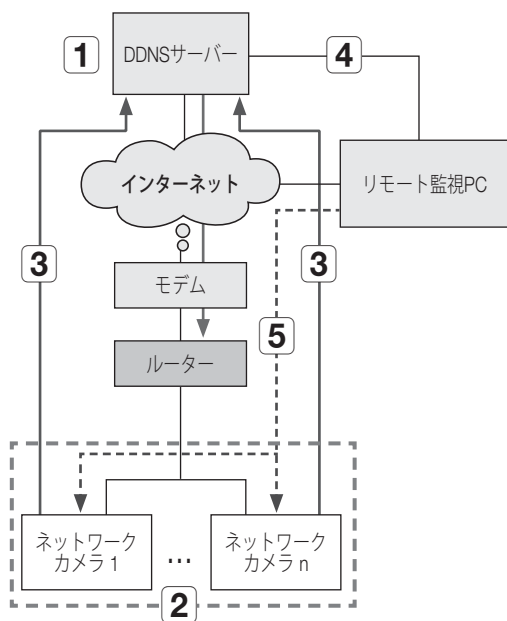
- DDNS URLアドレス: <http://www.samsungipolis.com/>製品ID

2. DDNSサーバー動作

- ① Samsung DDNSを使用するには、iPOLiSホームページ（www.samsungipolis.com）にアクセスし、インストールされているカメラ1/カメラ2の製品IDでそのサイトにログインします。
- ② メンバーシップにサインアップし、DDNSサーバーに製品を登録します。
- ③ Webviewerからカメラ1/カメラ2に接続します。
DDNS設定メニューでSamsung DDNSの有効化オプションにチェックし、DDNSを使用します。



- カメラの製品IDがDDNSサーバーに登録され、カメラのDDNSオプションが有効化されると、ネットワーク上のDDNSサーバーにカメラのIPアドレスが定期的に転送されます。
- リモート監視PCが監視目的でカメラ1/カメラ2に接続を試みると、リモート監視PCがDDNSサーバーと接続され、カメラ1/カメラ2の最新のアドレスを受信します。
- リモート監視PCは、DDNSサーバーから最新のIPアドレスを受信し、最新のIPアドレスを使用してカメラ1/カメラ2に接続して、ビデオ画像を受信します。



1	DDNSサーバーに製品を登録します。
2	Webviewerからカメラ1/カメラ2に接続し、Samsung DDNSの有効化のオプションを選択します。
3	カメラ1/カメラ2によって定期的に自身のIPアドレスがDDNSサーバーに転送されます。
4	DDNSサーバーに接続し、カメラ1/カメラ2の最新のアドレスを受信します。
5	リモート監視PCは、DDNSサーバーから最新のIPアドレスを受信し、最新のIPアドレスを使用してカメラ1/カメラ2に接続して、ビデオ画像を受信します。

ネットワーク設定

DDNSサーバーにより、リモートPCを使用してカメラにログインします。

DDNSによる登録

1. iPOLiSのWebサイト(www.samsungipolis.com)で、登録されたアカウントを使用してサインインします。



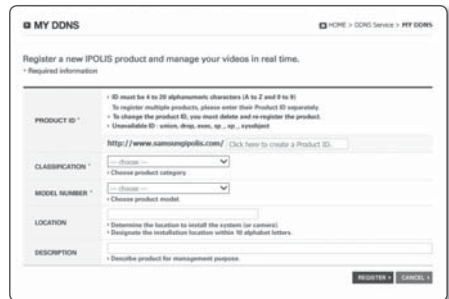
2. 上部のメニューバーで、<DDNS SERVICE> - <MY DDNS>を選択します。



3. [PRODUCT REGISTRATION]をクリックします。
4. 製品IDを入力します。
 - 入力したIDに対して重複チェックを実行する必要があります。



5. <CLASSIFICATION>を選択して、<MODEL NUMBER>を指定します。
6. 必要に応じて、製品の場所および説明を指定します。
7. [REGISTRATION]をクリックします。



ローカルネットワークに接続されたネットワークカメラにアクセスします。

ブロードバンドルーターのネットワーククラスタにはないリモートコンピュータでIP Installerを使用することは許可されていないため、ユーザーはそのカメラのDDNS URLを使用してブロードバンドルーターのネットワーク内のカメラにアクセスできます。

1. ブロードバンドルーターのネットワーク内のカメラにアクセスする前に、ブロードバンドルーターにポートフォワーディング範囲を設定しておく必要があります。
2. リモート監視PCでインターネットブラウザを開始します。
3. アドレスバーに、DDNS URLアドレス (http://www.samsungipolis.com/製品ID) を入力し、カメラに接続します。
4. ログインウィンドウが表示されたら、<User name>および<Password>を入力し、ログインします

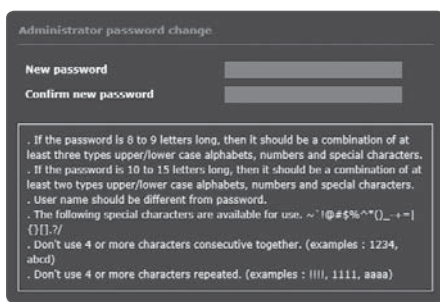
パスワード設定

本製品を初めて使用する場合、ログインパスワードを登録する必要があります。

"パスワード変更"ウィンドウが表示されましたら、新しいパスワードを入力します。



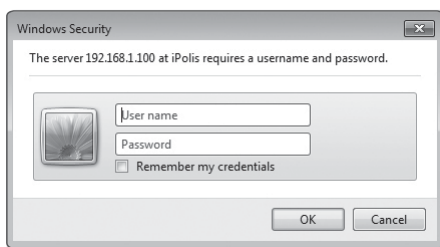
- 新しいパスワードが8~9桁の場合、以下のうち3種類以上を使用する必要があります：大文字/小文字、数字、特殊文字。パスワードが10~15桁の場合、2種類以上を使用する必要があります。
 - 認められている特別文字：~!@#\$\$%^&*_+=|{}[]?./
- 安全性を高めるため、同じ文字を繰り返したり、キーボード上の連続した文字を入力したりするのはお勧めしません。
- パスワードをなくした場合、[RESET]を押して製品を初期化します。そのため、メモ帳を利用したり、記憶したりして、パスワードをなくさないようにしてください。



ログイン

カメラにアクセスするたびに、ログインウィンドウが表示されます。ユーザーIDとパスワードを入力してカメラにアクセスします。

1. <User name>入力ボックスに"admin"と入力します。管理者ID"admin"は、確定されており変更できません。
2. <Password>入力欄に入力します。
3. [OK]をクリックします。正常にログインすると、Live Viewerの画面が表示されます。



ネットワーク設定

プログラムのインストールには、ネットワークカメラに接続した後でWEBVIEWERを開始する必要があります。

WebViewプラグインのインストール

初回にカメラに接続する際には、インストールメッセージが表示されます。次にカメラにアクセスし、カメラからの映像をリアルタイムに制御するために必要なWebViewプラグインをインストールします。

1. モニタページに初めてアクセスした場合は、インストールページが表示されます。[\[Click Here\]](#)をクリックするとインストールが開始されます。



■ プラグイン・インストールファイルのダウンロードがInternet Explorerブラウザ上で99%で中断された場合は、“ツール→スマートスクリーンフィルタ”で“スマートスクリーンフィルタを解除”を選択した後、再試行してください。

2. メッセージウィンドウの**[Run]**をクリックします。
3. 通知ウィンドウに、すべてのブラウザウィンドウを閉めますという表示が現れたら、**[Yes]**をクリックします。



■ Webビューアプラグインがインストールされていない場合、手順4と5はスキップされます。

4. Webビューアプラグインの古いバージョンがインストールされている場合は、通知ウィンドウに古いバージョンが削除されますと表示されます。通知ウィンドウが表示されたら、**[Yes]**をクリックします。
5. **[OK]** をクリックします。
Webビューアプラグインの古いバージョンは削除されます。
6. Webビューアプラグインのインストールを開始するには **[Install]** をクリックします。
7. **[Finish]** をクリックします。
のWebビューアプラグインのインストールは完了しました。



■ お使いのInternet Explorerで、WebViewプラグインをインストールした後にインストール画面へ移動したい場合、“ツール→追加機能管理”メニューが“有効”になります。そうではない場合で、現存する問題がある場合、“ツール→インターネットオプション→一般”を選択し、検索記録をすべて削除します。

ライブ画面の使用方法




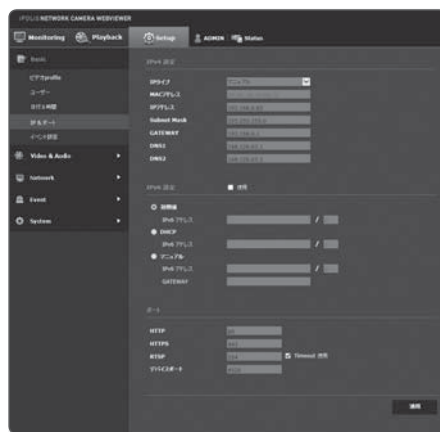
項目	説明
1 監視	モニターリング画面に移動します。
2 再生	画面へ移動すると、お使いのMicro SDメモリカードまたはNASに保存されている録画されたビデオ映像を検索できます。
3 設定	設定画面に移動します。
4 プロファイルアクセス情報	プロファイル情報を読むことができます。
5 Viewer画面	ライブ映像を画面に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> マウスのホイールを使用すると、Viewer画面でデジタルズームを有効化できます。
6 プロファイルタイプ	<Basic>設定メニューの下の<ビデオprofile>でプロファイルタイプを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> Web Viewerが接続されている場合、現在表示しているプロファイル情報が表示されます。
7 画面の最適化	カメラの映像サイズがWebブラウザと同じ大きさに切り替わります。
8 解像度の固定	カメラに設定されている解像度の設定とは無関係に、解像度が640x480に設定されます。もう一度押しすと、デフォルトの解像度に戻ります。
9 全画面	現在の映像をモニターの最大サイズに切り替えます。
10 取込み	スナップショットが.jpgフォーマット画像として保存されます。
11 手動録画	ユーザーは映像をマイクロSDメモリカードまたはNASに自分で保存できます。
12 音声/マイクの調整	オーディオとマイクを活性化させオーディオボリュームを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> オーディオボリュームを制御することができます。
13 アラーム出力	アラーム出力ポートを有効化します。
14 コンテキストメニューの非表示	左隅のコンテキストメニューが消え、メニューアイコンのみが表示されます。



設定画面

WEB VIEWER-ネットワーク 設定


IP & ポート


1. 設定メニューから、<Basic ()>タブを選択します。
2. <IP & ポート>をクリックします。
3. <IPv4 設定>を設定します。
 - IPタイプ: IP接続タイプを選択します。
 - マニュアル: IPアドレス、Subnet Mask、GATEWAY、DNS1、およびDNS2を指定します。
 - DHCP: DNS1およびDNS2を指定します。
 - PPPoE: DNS1、DNS2、ID、およびパスワードを指定します。
 - <マニュアル>に設定した場合は、IP、Subnet Mask、GATEWAY、DNS1、およびDNS2をマニュアルで設定します。



- MACアドレス: MACアドレスを表示します。
 - IPアドレス: 現在のIPアドレスを表示します。
 - Subnet Mask: 設定したIPの<Subnet Mask>を表示します。
 - GATEWAY: 設定したIPの<GATEWAY>を表示します。
 - DNS1/DNS2: DNS (ドメインネームサービス) サーバーのアドレスを表示します。
4. <IPv6 設定>を設定します。
 - IPv6アドレスを使用するには、<使用>に設定します。
 - 初期値: デフォルトのIPv6アドレスを使用します。
 - DHCP: DHCPサーバーから取得したIPv6アドレスを表示して使用します。
 - マニュアル: IPアドレスとゲートウェイを手動で入力して使用します。
-  ■ IPアドレス設定システムによってデフォルトでDHCPに設定されます。DHCPサーバーが検出されると、以前の設定が自動的に復元されます。
- 編集が完了したら、<適用 ()>をクリックして変更を適用し、ブラウザを終了します。少し時間が経ってから、変更されたIPを使用して再接続します。

5. ポートメニューの各項目を必要に応じて設定します。
 - 0から1023のポート範囲、およびポート3702は使用できません。
 - HTTP : Webブラウザ経由でカメラにアクセスする際に使用されるHTTPポートです。初期値は80 (TCP)です。
 - セキュリティポリシーにより、SafariブラウザおよびGoogle ChromeブラウザのHTTPポートを65535に設定することはできません。
 - HTTPS : このバージョンでは、ウェブ通信プロトコルHTTPのセキュリティが強化されます。使用可能なのは、SSLでHTTPSモードを設定したときです。初期値は443(TCP)に設定されています。
 - 使用可能な設定範囲は1024~65535です。(セキュリティ上の理由により、お使いのSafariまたはGoogle Chromeブラウザの場合、HTTPSポートに65535は使用できない場合があります。)
 - RTSP : 映像をRTSPモードで伝送する際に使用します。初期値は554です。
 - Timeout 使用 : RTSP接続の際、一定時間のあいだ応答がないとポートの接続を再設定します。
 - デバイスポート : Samsungプロトコルで映像信号を伝送する際に使用するポートを設定します。


 ■ HTTPポートを変更すると、ブラウザが終了します。変更後のアドレスには、IPの後に新しく割り当てられたHTTPポートが含まれます。
例) IPアドレス: 192.168.1.100、HTTPポート: 8080を割り当てた場合 http://192.168.1.100:8080
(HTTPポートを80に設定した場合は、ポート番号を指定する必要はありません。)


 - が復元されないようにするため、RTSPとHTTPSの使用を推奨が復元されないようにするため、RTSPとHTTPSの使用を推奨します。
6. 設定完了後、**[適用 (日本語_35**

設定画面

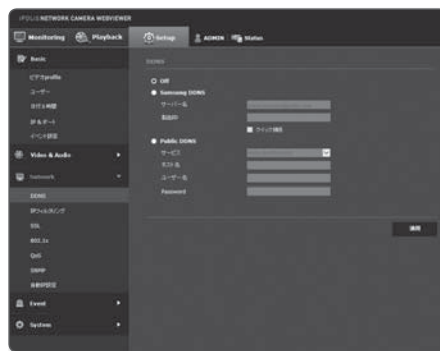
DDNS


DDNSはDynamic Domain Name Serviceの略語であり、カメラのIPアドレスをユーザーが覚えやすい一般的なホスト名に変換します。


 ■ DDNSサービスを御利用いただけるのは、インターネットが接続されている場合のみです。


1. 設定メニューから、<Network ()>タブを選択します。
2. <DDNS>をクリックします。
3. <DDNS>接続タイプを選択します。
4. 選択したタイプに応じてDDNS項目を入力します。

- Samsung DDNS : Hanwha Techwin 提供のDDNSサーバーを使用する場合はこれを選択します。
 - 製品ID : Samsung DDNSサービスに登録されている製品IDを入力します。
 - クイック接続 : UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) をサポートするルーターと使用する場合、ポートフォワーディングが自動的に設定されます。




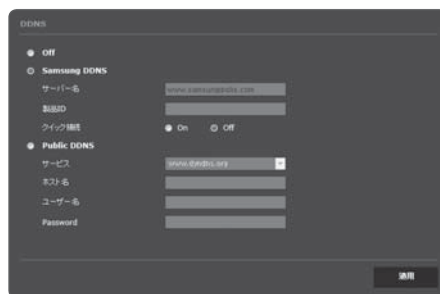
 ■ UPnP機能をサポートしているハブを使用せずにDDNSサービスを利用したい場合、クイック接続をクリックし、ハブメニューへ戻り、ポート転送を有効にします。
ポート転送をお使いのハブに設定する方法についての詳細は、「[ポートフォワーディングの設定方法](#)」をご参照ください。(23ページ)

- Public DDNS : 公開DDNSサーバーを使用する場合は、提供されている公開DDNSサーバーのいずれかを選択します。
 - サービス : 該当する公開DDNSサービスサーバーを選択します。
 - ホスト名 : DDNSサーバーで登録されるホスト名を入力します。
 - ユーザー名 : DDNSサービスのユーザー名を入力します。
 - Password : DDNSサービスのパスワードを入力します。
5. 設定完了後、**[適用 ()]**をクリックします。



 ■ <クイック接続>を選択した場合、必ずSamsung DDNSサービスを選択してください。

カメラ設定でSamsung DDNSに接続するには

1. DDNS設定ページで、<DDNS>を<Samsung DDNS>に設定します。
2. DDNSサイトで製品IDを登録した際に指定した<製品ID>を指定します。
3. **[適用 ()]**をクリックします。
正常に接続されると、<(成功)>メッセージが画面に表示されます。



カメラ設定における公開DDNSの設定



1. DDNS設定のページを開き、<DDNS>として<Public DDNS>を選択します。
2. 対応するサイトのホスト名、ユーザー名およびパスワードを入力します。
3. [適用 ()]ボタンをクリックします。
接続が正しく確立した場合には、<(成功)>が表示されます。
4. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします

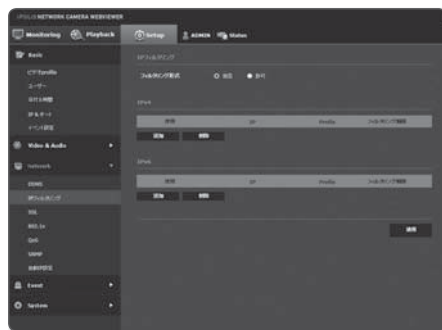


- DDNSサービスを正しく使用するには、DDNSの設定およびルーターのポートフォワーディング設定の両方が必要です。ポートフォワーディングの設定には、“[ポートフォワーディングの設定方法](#)”を参照してください。(23ページ)



IPフィルターリング

アクセスを許可または拒否するIPのリストを作成することができます。

1. 設定メニューから、<Network ()>タブを選択します。
2. <IPフィルターリング>をクリックします。
3. <フィルターリング形式>を選択します。
 - 拒否: これを選択すると、フィルターリングに追加されるIPからのアクセスは制限されます。
 - 許可: これを選択すると、フィルターリングに追加されるIPからのアクセスは許可されます。
4. [追加 ()]ボタンをクリックします。
IPリストが登録されます。
5. アクセスを許可または拒否するIPを指定します。
IPアドレスとプレフィックスを入力すると、使用可能なIPアドレスのリストが右側のフィルタ範囲列に表示されます。




- IPフィルターリングが<許可>に設定され、<IP & ポート>の<IPv6設定>が<使用>に設定されている場合、現在設定しているコンピュータのIPv4アドレスとIPv6アドレスの両方を割り当てる必要があります。
 - 現在の設定に使用するコンピュータのIPアドレスは<拒否>に追加せず、<許可>に追加します。
 - フィルタ列には、<使用>に設定されたIPアドレスのみが表示されます。

6. 削除するIPアドレスをリストから選択します。
[削除 ()]ボタンをクリックします。
7. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします。

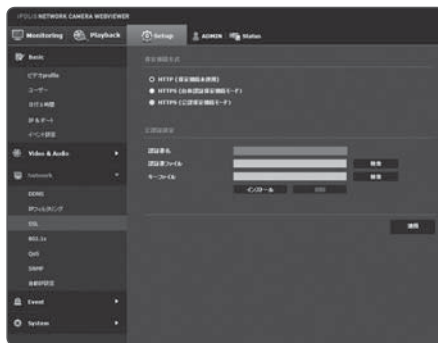
設定画面


SSL

この目的で、保安接続方式の選択または公認証設定が可能です。



1. 設定メニューから、<Network ()>タブを選択します。
2. <SSL>をクリックします。
3. 保安接続方式を選択します。

- HTTPSモードを使用してカメラにアクセスするには、カメラのIPアドレスを"https://<Camera_IP>"の形式で入力する必要があります。
Internet Explorerを使用してHTTPSモードでWeb Viewer設定に失敗した場合は、次のようにインターネットオプションを編集してください。<メニュー→ツール→インターネット オプション→詳細設定→セキュリティ→TLS 1.0を選択解除してTLS 1.1、TLS 1.2を選択>




4. カメラに設定する公認証を検索します。
カメラに公認証をインストールするには、認証書名（ユーザーが任意に割り当てることができる）、認証局から発行された認証書ファイルおよびキーファイルを入力します。
 - <HTTPS（公認保安接続モード）>項目は、公認証が設定されている場合にのみ使用できます。
5. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします。

証明書のインストール


1. 証明書の名前を入力します。
2. [検索 ()] ボタンをクリックし、インストールする公開証明書ファイルおよび鍵ファイルを選択し、[設置 ()] ボタンをクリックします。

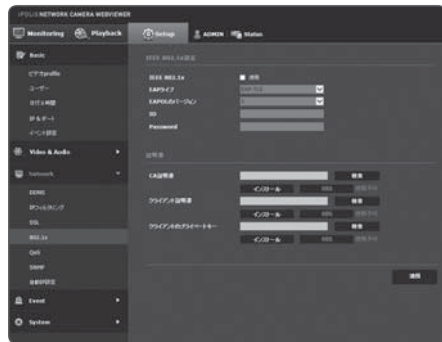
証明書の削除

1. [削除 ()] ボタンをクリックします。
2. 公認証を削除するには、<HTTP (保安接続未使用)>または<HTTP (自体認証保安接続モード)>のモードでネットワークビデオデコーダーにアクセスする必要があります


802.1x

ネットワークに接続する際に、802.1xプロトコルを使用するかどうかを選択し、証明書をインストールすることができます。




1. 設定メニューから、<Network ()>タブを選択します。
2. <802.1x>をクリックします。
3. <IEEE 802.1x設定(EPS-TLSを使用したEAPOL)>を設定します。
 - IEEE 802.1xの有効化：802.1xプロトコルの使用を指定します。
 - EAPOLのバージョン：バージョン1または2を選択します。
 - ID：クライアント証明書IDを入力します。
 - Password：クライアントのプライベートキーのパスワードを入力します。使用されているプライベートキーファイルが暗号化されていない場合、入力は不要です。



! 接続したネットワークデバイスが802.1xプロトコルをサポートしていない場合、プロトコルを設定しても正常に動作しません。



4. 証明書をインストール/削除します。
 - CA証明書：パブリックキーが含まれる公開証明書を選択します。
 - クライアント証明書：クライアントの証明書キーが含まれる公開証明書を選択します。
 - クライアントのプライベートキー：クライアントのプライベートキーが含まれる公開証明書を選択します。
5. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします。


802.1x関連の証明書をインストール/削除するには



1. 各項目の [検索 ()] ボタンを押して、インストールする証明書を選択します。
2. 証明書がインストールされていない場合は、選択した項目の横に“使用不可”と表示されます。
3. [設置 ()] ボタンを押すとインストールが開始され、項目の横に“インストール済”というメッセージが表示されます。
4. 証明書を削除するには、[削除 ()] ボタンを押します。

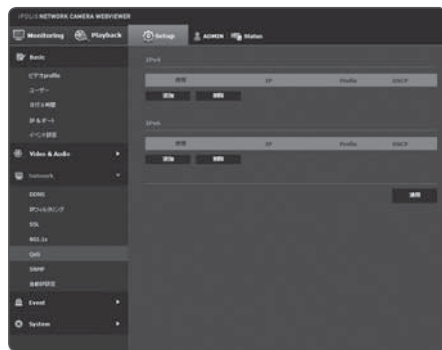
QoS

特定のIPについて優先度を指定して、安定した転送速度を確保することができます。

1. 設定メニューから、<Network ()>タブを選択します。
2. <QoS>をクリックします。
3. [追加 ()] ボタンをクリックします。IPリストに登録されます。
4. QoSを適用するIPアドレスを入力します。

-  以下の項目は、IPv4のデフォルトプレフィックスは32です。DSCPの場合、デフォルトは63に設定されています。
- <使用>に設定されたIPアドレスのみに優先順位を付けることができます。

5. 削除するIPアドレスをリストから選択します。[削除 ()] ボタンをクリックします。
6. 設定完了後、[適用 ()] をクリックします。



設定画面

SNMP

システムまたはネットワーク管理者は、SNMPプロトコルを使用して、リモートサイトでネットワークデバイスを監視したり、環境設定を行うことができます。

1. 設定メニューから、<Network (🌐)>タブを選択します。

2. <SNMP>をクリックします。

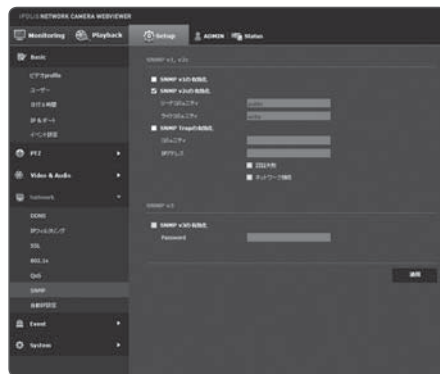
3. <SNMP>を指定します。

- SNMP v1の有効化：SNMPバージョン1が有効になります。
- SNMP v2cの有効化：SNMPバージョン2が有効になります。
 - リードコミュニティ：SNMP情報にアクセスできるリードコミュニティの名前を入力します。デフォルト名は<public>です。
 - ライトコミュニティ：SNMP情報にアクセスできるライトコミュニティの名前を入力します。デフォルト名は<write>です。
- SNMP Trapの有効化：SNMPトラップは管理者システムに重要なイベントや条件を送信するために使用されます。
 - コミュニティ：メッセージを受信するために、トラップコミュニティ名を入力します。
 - IPアドレス：メッセージの送信先となるIPアドレスを入力します。
 - 認証失敗：コミュニティの情報が無効の場合、イベントが生成されなければならないかどうかを指定します。
 - ネットワーク接続：ネットワークの切断が回復したときに、イベントが生成されなければならないかどうかを指定します。
- SNMP v3の有効化：SNMPバージョン3が有効になります。
 - Password：SNMPバージョン3のデフォルトのパスワードを指定します。
 - デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が発生した場合は、ユーザーの責任となります。
 - パスワードは8文字より長く、16文字を超えない長さにしてください。

4. 設定完了後、[適用 (適用)]をクリックします。



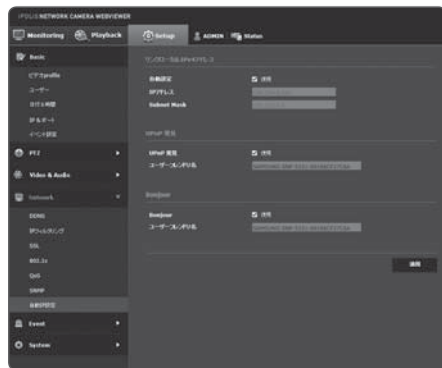
- SNMP v3はセキュア接続モードがHTTPSの場合にのみ設定できます。“SSL”を参照してください。(38ページ)
- SNMP v3を使用しなかった場合、セキュリティ上の問題が発生することがあります。



自動IP設定

アクセスとカメラ検索に利用可能なIPを自動設定できます。

1. 設定メニューから、<Network ()>タブを選択します。
2. <自動IP設定>をクリックします。




3. <リンクローカルIPv4アドレス>を設定します。
リンクローカルネットワークからカメラに接続するために、追加のIPアドレスが割り当てられる場合があります。
 - 自動設定：リンク - ローカルIPv4アドレスの有効または無効を指定します。
 - IPアドレス：割り当てられたIPアドレスを表示します。
 - Subnet Mask：割り当てられたIPアドレスのサブネットマスクを表示します。

4. <UPnP 発見>を設定します。
UPnPプロトコルにより、クライアントおよびオペレーションシステム内でカメラを自動的に検索することができます。
 - UPnP 発見：UPnP検出を有効にするか無効にするかを指定します。
 - ユーザーフレンドリ名：カメラ名を表示します。
フレンドリ名が、WISENET-<モデル名>-<MACアドレス>の形式で表示されます。

 ■ 基本的にUPnPに対応しているWindowsオペレーティングシステムでは、ネットワークに接続されているカメラが表示されます。

5. <Bonjour>を設定します。
Bonjourプロトコルにより、クライアントおよびオペレーションシステム内でカメラを自動的に検索することができます。
 - Bonjour：Bonjourの有効または無効を指定します。
 - ユーザーフレンドリ名：カメラ名を表示します。
フレンドリ名が、WISENET-<モデル名>-<MACアドレス>の形式で表示されます。


 ■ デフォルトでBonjourをサポートしているMacオペレーティングシステムでは、接続されたカメラが自動的にSafariのウェブブラウザのBonjourブックマークに表示されます。
Bonjourのブックマークが表示されない場合は、「環境設定」メニュー内のブックマークの設定を確認してください。

6. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします。

設定画面

FTP / Eメール

イベント発生時にカメラで撮影した画像をPCに転送できるように、FTP/電子メールサーバーを設定することができます。

1. 設定メニューから、<Event ()> タブを選択します。
2. <FTP / Eメール>をクリックします。
3. <FTP設定>または<E-mail設定>を選択し、必要な値を入力/選択します。

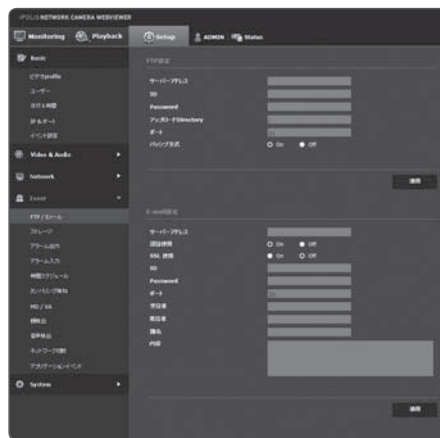
• FTP設定

- サーバーアドレス：アラーム画像またはイベント画像を転送するFTPサーバーのIPアドレスを入力します。
- ID：FTPサーバーにログインするユーザーIDを入力します。
- Password：FTPサーバーにログインするユーザーアカウントのパスワードを入力します。
- アップロードDirectory：アラーム画像またはイベント画像を転送するFTPパスを指定します。
- ポート：FTPサーバーの初期ポートは21ですが、FTPサーバーの設定に応じて別のポート番号を使用できます。
- パッシブ方式：ファイアウォールまたはFTPサーバーの設定に応じてパッシブ方式で接続する必要がある場合は、<On>を選択します。

• E-mail設定


- サーバーアドレス：アラーム画像またはイベント画像を転送する電子メールサーバーのIPアドレスを入力します。
- 認証使用：認証を使用するかどうかを選択します。
- SSL 使用：SSLを使用するかどうかを指定します。
- ID：電子メールサーバーにログインするユーザーアカウントのパスワードを入力します。
- Password：電子メールサーバーにログインするユーザーアカウントのパスワードを入力します。
- ポート：電子メールサーバーの初期ポートは25ですが、電子メールサーバーの設定に応じて別のポート番号を使用できます。
- 受信者：電子メール受信者のアドレスを入力します。
- 発信者：電子メール送信者のアドレスを入力します。送信者のアドレスが正しくない場合、送信者からの電子メールは電子メールサーバーによってSPAMに分類され送信されない可能性があります。
- 題名：電子メールの題名を入力します。
- 内容：メッセージのテキストを入力します。作成している電子メールにアラーム画像またはイベント画像を添付します。

4. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします。



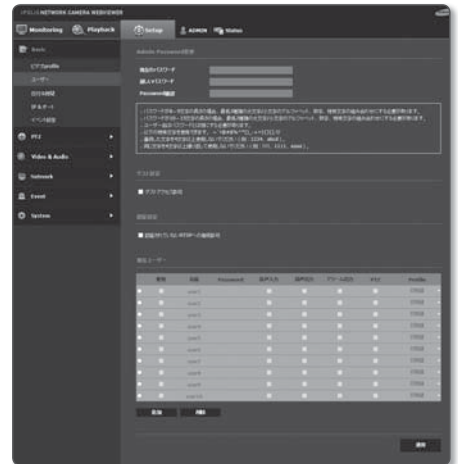
WEB VIEWER-パスワード 設定

ユーザー



1. 設定メニューから、<Basic ()> タブを選択します。
2. <ユーザー>をクリックします。
3. 必要なユーザー情報を指定します。
 - Admin Password変更：管理者のパスワードを変更します。



- セキュリティ上の目的で、数字、アルファベット、大文字小文字および特殊文字を使用することをお勧めします。
- お使いのパスワードは3ヶ月に1度に変更することをお勧めします。
- パスワードの長さや制限事項は下記に表示の通りです。
 - 大文字、小文字、数字および特殊文字の組み合わせ：8~9文字。
 - 大文字、小文字、数字、特殊文字の中から最低2種類の組み合わせ：10~15文字。
 - IDとは違う必要があります。
 - 同じ文字や、特殊文字を4回を超えて繰り返すことはできません。
 - 連続した文字を4文字以上続けて使用しないでください。(例：1234、abcd)
 - 同じ文字を4文字以上連続で使用しないでください。(例：!!!!、1111、aaaa)
 - 認められている特別文字：~!@#%^(*)_+={|}[];:/
 - 工場設定の後、管理者およびユーザーのパスワードは初期化されます。パスワードをリセットしてください。
 - カメラのウェブページに初めてアクセスしたときや、初期化した後にアクセスした場合、管理パスワード設定メニューへ移動します。
 - このメニュー内では、カメラのウェブページの各メニューを使用する前に、新しいパスワードで再度ログインする必要があります。
 - 既存のパスワードと一致しない場合、管理パスワードを変更すると、そのパスワードを変更できなくなります。
 - お使いのパスワードを変更した後、CMS又はMVRクライアントに接続されているカメラがあった場合、新しく変更したパスワードで再登録する必要があります。カメラが依然同じパスワードで接続されている場合、クライアントが以前のパスワードを使用しているためにアカウントがロックされる場合があります。
- 登録したアカウントでログインしようとして連続5回以上パスワード認証に失敗した場合、アカウントが30秒間ロックされる場合があります。
- 複数の接続がパソコンから有効なときにパスワードを変更すると、ブラウザが正常に機能しなくなる場合があります。そうした場合は、サーバーに再接続します。



設定画面

- ゲスト設定：<ゲストアクセス許可>を選択すると、ゲストアカウントがWeb Viewer画面にアクセスできるようになります。ただし表示されるのはLive viewer画面のみです。
 - ゲストアカウントのID/パスワードは<guest/guest>で、変更できません。
 - 認証設定：<認証されていないRTSPへの接続許可>を選択すると、ログインせずにRTSPにアクセスしてビデオを表示できます。
 - 現在ユーザー：<使用>を選択すると、ユーザー権限を設定または変更できます。
 - 管理者は、音声入力、音声出力、およびアラーム出力の権限を設定することができます。
 - Profile：<初期値>を選択すると、デフォルトプロファイルのビデオのみが表示されます。<全体>を選択すると、すべてのプロファイルのビデオを表示できます。
-  ONVIF機能の使用が許可された登録ユーザーに用意されているONVIF機能は、付与されている権限によって制限されます。
4. 設定完了後、[適用 ()]をクリックします。

